

## 「市民の伊勢志摩サミット」後の 「市民協働による政策づくり」を目指す新しい組織づくりに向けて

怒涛のような「市民の伊勢志摩サミット」と「G7伊勢志摩サミット」が終わり、早くも3か月余りが経ちました。6月26日に開催した「市民の伊勢志摩サミット報告会(以下「報告会」と称する)」では、11の分科会からの提言を説明していただきましたが、それぞれの提言文に込められた、NPO/NGOの方々への想いの深さに、改めて感動せずにはられませんでした。

これらの提言は、これから実現していかなければ意味がありません。市民サミットで採択した「市民宣言」では、「市民協働による政策づくりを効果的に進めるため、新たな制度やネットワークづくりを行う」としました。市民サミットの提言はもとより、市民が抱えるさまざまな課題について、当事者である市民が参加する「市民協働の政策づくり」に今後どう取り組んでいくか。市民サミットに取り組んだ私たちの最大のテーマです。

「報告会」では、これを推進する組織として、市民サミットを主催した「東海『市民サミット』ネットワーク」を改組し、新たに「東海市民社会ネットワーク」を立ち上げることが、満場一致で了承されました。市民サミットで出会った、愛知・岐阜・三重の3県のNPO/NGOがゆるやかにネットワークを組み、さらに多くの仲間を増やししながら、「市民協働による政策づくりを推進するための、力強い市民社会づくり」を目指そうというものです。

この声を受けて、東海「市民サミット」ネットワーク呼びかけ団体が話し合い、来る10月23日(日)、13:30~16:30、名古屋市において、「東海市民社会ネットワーク」の設立大会を開催することにしました。「市民協働による政策づくり」に活動を特化すること、東海3県のNPO/NGOが「子ども」「環境」「災害」などのテーマごとにつながることなど、「市民の伊勢志摩サミット」での経験を生かした、全国でも例のない組織といえるでしょう。

よりよい地域づくり、国づくり、世界づくりのためには、市民の声が自治体レベル、国レベル、国際レベルの政策に反映されることが不可欠です。そのためには、NPO、NGOなど多様な市民がつながり、「力強い市民社会」を構築していかなければなりません。私たちは、これから東海地域で新しい動きを起こします。皆様方のご参加、ご協力を心よりお待ちしております。

### 【皆様をお願いしたいこと】

- 1 「東海市民社会ネットワーク」設立大会(別紙チラシ参照)への参加
- 2 「東海市民社会ネットワーク」への参加、ご協力(別紙申込書参照)

2016年9月吉日

東海「市民サミット」ネットワーク呼びかけ団体一同  
(名古屋NGOセンター、地域の未来・志援センター、  
ぎふNPOセンター、泉京・垂井、みえNPOネットワークセンター)